

都市再生整備計画 事後評価シート

海老名駅周辺地区

令和5年11月

神奈川県海老名市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	海老名市		地区名	海老名駅周辺地区			面積		63.3ha		
交付期間	平成29年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	920.9		国費率	0.405				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(海老名駅北口駅前交通広場整備事業(車道部))、地域生活基盤施設(海老名駅北口駅前交通広場整備(広場部)、公共施設案内板等整備事業(情報板)、文化財案内板等整備事業(情報板))											
		提案事業	なし											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 高次都市施設(海老名駅観光案内所整備事業(観光交流センター))、地域生活基盤施設(観光案内盤等整備事業(情報板))				削除/追加の理由 高次都市施設:施設使用方法を賃貸に変更するとともに、営利事業を含めて幅広く検討することとなったため。 地域生活基盤施設:民間企業等の広告を掲載し、幅広い情報を提供することとなったため。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 高次都市施設:影響なし 地域生活基盤施設:影響なし			
		提案事業												
		新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(海老名駅駅間エレベーター整備事業、海老名駅駅間車寄せ整備事業)				バリアフリー対策及び災害対策機能を備えたエレベーター並びに車寄せ整備を行うことで、安心・安全・快適な歩行ネットワーク構築の促進を図るため。						
	提案事業													
	交付期間の変更		当初	平成29年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更												
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
指標1		市民生活の便利さ・満足度	%	65	H28	81	R3		54	△	あり なし	供用開始から間もなく市政アンケートを実施したことから、効果が表れなかったもの。	次回の市政アンケート実施後	
指標2		地区内案内設備に係る市民満足度	%	74	H28	93	R3		82	△	あり なし	供用開始から間もなく市政アンケートを実施したことから、効果が表れなかったもの。	次回の市政アンケート実施後	
指標3		自然・歴史施設の有効活用	人/年	9,334	H28	10,739	R3		9,190	×	あり なし	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会経済活動の自粛、縮小による。	次回の市政アンケート実施後	
指標4		防災対策に係る市民満足度	%	56	H28	62	R3		69	○	あり なし	災害対策機能(停電対応)を備えたエレベーターを設置したことにより、満足度が向上した。		
指標5										あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

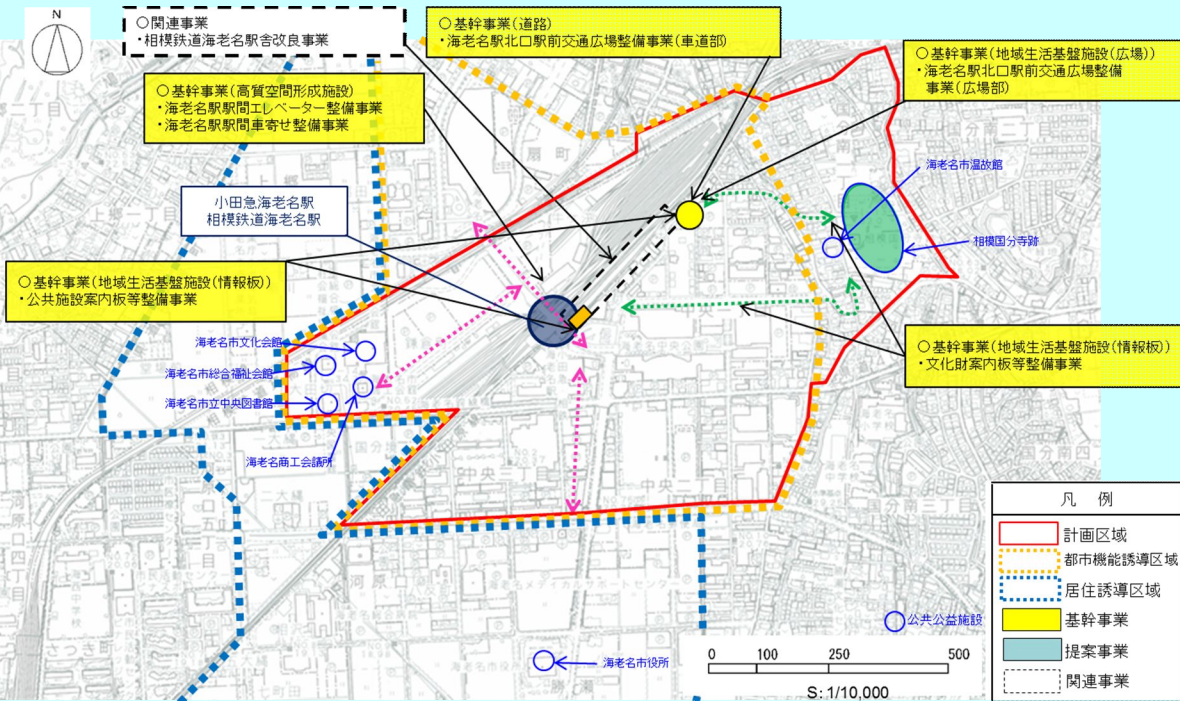
海老名駅周辺地区(神奈川県海老名市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		評価値
海老名駅を中心とした東西一体のまちづくりの進捗及び相模鉄道海老名駅改修事業に合わせ、海老名駅の交通結節機能の強化と安心・安全・快適な歩行者ネットワークの構築を推進し、賑わいと活力、そして誰もが活動しやすい魅力的な都市を目指します。		市民生活の便利さ・満足度	単位：％	65	H28年度	54 R5年度
		地区内案内設備に係る市民満足度	単位：％	74	H28年度	82 R5年度
		自然・歴史施設の有効活用	単位：人／年	9,334	H28年度	9,190 R5年度
		防災対策に係る市民満足度	単位：％	56	H28年度	69 R5年度
①海老名駅の交通結節機能の強化 ②地区内の自然・歴史・文化等の観光資源を有効活用し、中心市街地の新たな魅力の創出と歩行者回遊性の向上			単位：	H	R	R



海老名駅北口駅前交通広場



海老名駅駅間エレベーター



○関連事業
・相模鉄道海老名駅舎改良事業

○基幹事業(道路)
・海老名駅北口駅前交通広場整備事業(車道部)

○基幹事業(高質空間形成施設)
・海老名駅駅間エレベーター整備事業
・海老名駅駅間車寄せ整備事業

○基幹事業(地域生活基盤施設(広場))
・海老名駅北口駅前交通広場整備事業(広場部)

○基幹事業(地域生活基盤施設(情報板))
・公共施設案内板等整備事業

○基幹事業(地域生活基盤施設(情報板))
・文化財案内板等整備事業

○公共施設案内板等整備事業

○文化財案内板等整備事業

凡 例

- 計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業



公共施設案内板



文化財案内板等

まちの課題の変化	- 海老名駅北口駅前交通広場を整備したことにより、海老名駅までの移動距離の短縮による歩行者の利便性や駅への車両集中による道路渋滞の緩和に繋がった。 - 海老名駅駅間エレベーターや車寄せを整備したことにより、利用者の快適性に繋がった。 - 公共施設や文化財の案内板等を整備したことにより、歩行者の回遊性や自然・歴史・文化等の観光資源活用に繋がった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	- 今後、さらにまちの賑わいが高まるものと想定されるため、中心市街地の交流拠点や周辺道路の整備、交通体系の見直しなど、継続して魅力的なまちづくりを推進する。 - 引き続き、居住環境や都市機能を集積するとともに、交通拠点の機能性向上を図ることで、コンパクトなまちづくりを推進する。